

◆小中学校の土曜授業

小室 現場からも年間14〜15時間の授業を増やしたくらいで成績向上に結び付けられるなら苦労はないという声があります。そのための職員の負担や近隣地域でのスポーツの大会等の日程調整や家庭によつては時間のやりくりに苦慮しているケースもあります。二期制についても反対です。学力向上を目指す要因の一つは、全国学力到達調査なるテストの順位付けが影響しています。この調査自体に疑問があります。

◆正規職員の削減

小室 教育の現場こそ正規職員を増やすべきです。例年、職員の配置が不足している学校が散見されます。在職の職員で対応するには、負担が大きくなります。

◆**学校職員の人権意識** 子どもへの対応やいじめや虐待防止には人権意識が重要であることは言うまでもありません。が、先生方の人権意識や人権意識に疑問を持つケースもあります。

【その他の特別会計】

国民健康保険

特別会計に賛成

小室 以前から財政調整基金の使用方を指摘してきました。これは余剰



金を積み立てたもので、徴収率を上げたことにより積立額も増額されます。徴収しすぎた分は保険料を下げるために活用するのは当然だと思えます。水道事業、下水道事業、次木親野井特定土地区画整理時事業に賛成しました。介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計には反対しました。

小室みえこの

一般質問



東海第二原子力発電所に関する

野田市及び野田市長の考えについて

小室 「東海第二原発再稼働について東葛地域で住民説明会を求める」要請に対する回答について

【6市の回答要旨】 住民説明会については東葛6市に対しては、今後の見通しやスケジュールについて示されていません。必要に応じて東葛6市で連携を図りながら開催について協議等を行って参ります。

小室 原子力災害における広域避難に関する進捗について

市長 水戸市からは、移動手段やスクリーニング等を含む避難指示から避難所到着までの対応を7〜8月に

かけて市民アンケートを実施し避難先自治体と協議していくという説明がありました。

小室 この広域避難計画は、再稼働ありきではないとしながら、お墨付きを与えかねない計画だと考えます。鈴木市長には、東葛地域から再稼働反対のリーダーシップをとっていただきたいと考えます。

市長 すでに反対については言及していますが、すぐに原発をなくすことは現実的には難しく、立地自治体の経済的な面を考慮し、将来的には無くすべきだと思っています。

小室みえこのコメント 野田市議会は2012年に「東海第二原発の再稼働を認めないこと。東海第二原発の廃炉を事業者に求めること。」という内容の発議を採択しています。

東葛地区は福島第一原発事故による放射能汚染で大きな被害を受けた地域です。二度とあのような被害を出さないために、野田市長の強い発言力に期待します。

野田市児童虐待死亡事例検証後の教育現場の取り組みについて

小室みえこのコメント

忙しい日常の先生方及び職員の皆

さんではありますが、この検証報告を一人一人に読んでいただき、「もし自分だったらどうしたのか？」という視点から、子どもの人権について考えていただきたいという思いでした。

ある市民の方は「野田市の対策では不十分であり、この検証報告書を読んだ職員の感想を保護者が読めるくらいの取り組みをしてほしい」と訴えて来られました。教職員が自ら考え、自分だったらどう対応したのか？知らなかった点は何か？暴力とはどんなものなのか？を考察をすべきです。

保護者の方からいただいた相談では、子どもが授業に出られなくなった、入院してしまったお子さんもいる、相談した保護者への対応がその後変わってしまった等々、職員の指導そのものに不信感をもったという指摘をいただきました。このような姿勢で、子どもたちのいじめや家庭での虐待に気が付くアンテナを持っているのでしょうか？先生方同士で協力的な関係性があるのでしょいか？相談者と一緒に考えながら大きな疑問を持ちました。現場が変わらなければ子どもたちは救えません。

